

ART INFORMATION

「美」との出会いを提供して1世紀。暮らしに「アート」をお届けします。

横浜高島屋美術画廊のご案内

6月

June 2026



「Du songe universel(普遍的な夢)」177×122cm、ミクストメディア

●会期:6月3日(水)～8日(月)

入江 明日香 新作展〈絵画〉

◎美術画廊は毎週火曜、会場準備のため閉廊、最終日は通常通り営業いたします。

※都合により営業時間・催し内容が変更になる場合がございます。また、商品の販売中止・販売期間が変更になる場合がございます。

高島屋の美術

高島屋各店美術画廊・
展覧会のご案内



横浜高島屋美術画廊のご案内は
【公式】横浜高島屋美術画廊
のInstagramでも
ご覧いただけます。



●会期:6月3日(水)～8日(月)

入江 明日香 新作展〈絵画〉

銅版画のカラーージュと筆の描画を駆使した独自のミクストメディアの表現で注目を集め、近年より緻密さを増す作品の数々は、各地で展覧会を開催するごとに多くのファンを魅了しています。今展では新たな試みとして、作家が敬愛するフランスの建築家エクトール・ギマールの建築図面デザインを背景に、干支や、龍、人物を100号大サイズ新作5点を同時発表するほか、小品や版画作品も含め20余点で展覧いたします。



「Projet 《Samourai》(侍の設計図)」
170×122cm、ミクストメディア

■入江明日香先生によるギャラリートーク ●6月6日(土)午後3時から
※ギャラリートークに関する情報は横浜高島屋ホームページをご確認ください。

●会期:6月10日(水)～15日(月)

メッセンジャー 天野 裕夫 彫刻展

1954年岐阜県瑞浪市に生まれ、1978年多摩美術大学院彫刻科を修了し、個展活動や野外彫刻展などに精力的に出品され、数々の受賞をされています。御神木との融合された動物作品を中心に陶・石・ブロンズ・化石など様々な組み合わせによるユニークな発想から生まれる不思議な生き物達、天野ワールドの作品を展覧いたします。



「メッセンジャー」H110×W110×D77cm、
御神木・ブロンズ

●会期:6月10日(水)~15日(月)

渡辺 国夫 色絵磁器展 — 白と彩 —

渡辺国夫先生は東京藝術大学大学院美術研究科陶芸専攻修了。面と線によるシャープな造形に、華やかな色彩によるデザインが作品の中でリズムカルに構成され、広がりを生み出しています。今展では白の作品を出品いたします。白と彩(いろいろ)の作品が協演する新たな展開をご高覧ください。



「積奏彩藍晶文壺」φ15.1×H24.5cm

●会期:6月17日(水)~22日(月)

藤田 潤 ガラス新作展

— 内なる声をガラスに込めて —

藤田潤先生は1951年東京生まれ、学習院大学文学部哲学科卒業後、文化勲章受章者、父・藤田喬平先生の技法、精神を受け継ぎ作品を制作されています。今展では、未来を見据えるまなごしを宿した女性像・青年像の作品を新たなシリーズとして発表いたします。



「Donna」H40×W37.5×D28.5cm

永井 夏夕展 いつか、水に還る〈絵画〉

神奈川県出身。2004年東京藝術大学修士課程修了(デザイン科描画装飾)。日本人が本来持っている自然との共存と自然の循環に焦点を当て沸き立つ雲、水源となる川など、日々の情景を再解釈した風景作品を中心に展覧いたします。今展では、人形作家である、林由未氏と共同制作した箱作品も初の試みとして発表いたします。



「いつか水に還る」直径530mm(10号円形)
アクリル絵の具、岩絵の具、木製パネル、綿布

●会期:6月24日(水)~29日(月)

— 今を伝える信楽・瀬戸 —

澤克典・山口真人 二人展Ⅱ〈陶芸〉

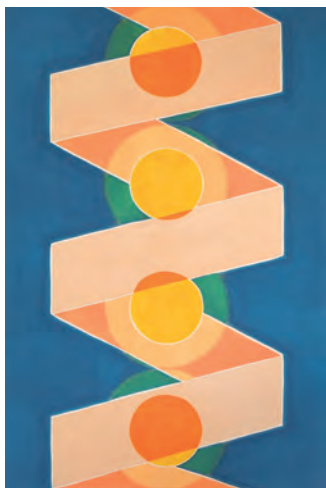
澤克典先生は2002年滋賀県窯業試験場卒業後、鈴木五郎氏に師事。2005年信楽にて独立。さまざまな織部作品を得意とし、リズム感ある絵付けと心地よい造形が特徴の作品を発表いたします。山口真人先生は愛知県瀬戸市出身。日本伝統工芸展や朝日陶芸展など数々の公募展にて入選を続けています。伝統の技に加え、意匠を凝らした造形的な作品にも挑戦されています。



左)澤克典「呼継茶盃」
W12.0×D11.8×H7.7cm
右)山口真人「火焰志野茶盃」
W13.8×D13.3×H9.8cm

末松由華利展 — Floating Lives — 〈絵画〉

埼玉県出身、2010年に多摩美術大学美術学部絵画科油画専攻を卒業。2017年「シェル美術賞」で審査員賞を受賞し、2019年第33回ホルベイン・スカラシップ奨学生認定。様々な土地でのアーティスト・イン・レジデンスプログラムに参加をとおして得た数多くの体験・経験を表現の源として国内外へ精力的に発表を続けています。今展では、都市の情景を基軸に、幾重にも重なり合う営みを光や形、層として描き、その一瞬の重なりある光の数々をリズムカルに表現された作品を一堂に展覧いたします。



「欠けても替えはいくらでも」194×130cm、
キャンバス・アクリル絵具

7月の予告

- 会期:7月1日(水)~6日(月) —————
吉水 快聞 展〈彫刻〉／芝 康弘 展〈日本画〉
- 会期:7月8日(水)~13日(月) —————
襲名記念 十四世 坂 高麗左衛門 展〈茶陶〉／小野 彩華 展〈洋画〉
- 会期:7月15日(水)~20日(月・祝) —————
美の予感2026 -象・彫・刻・塑- 〈彫刻〉
- 会期:7月22日(水)~27日(月) —————
坂部 隆芳 展〈洋画〉／鈴木 隆 展〈陶芸〉